

# 令和3年度 第1回 大井川水系流域委員会 【最近の河川事業を取り巻く話題】

令和3年10月1日

国土交通省 中部地方整備局  
静岡河川事務所

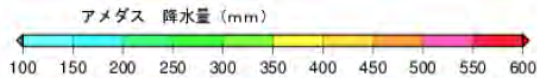
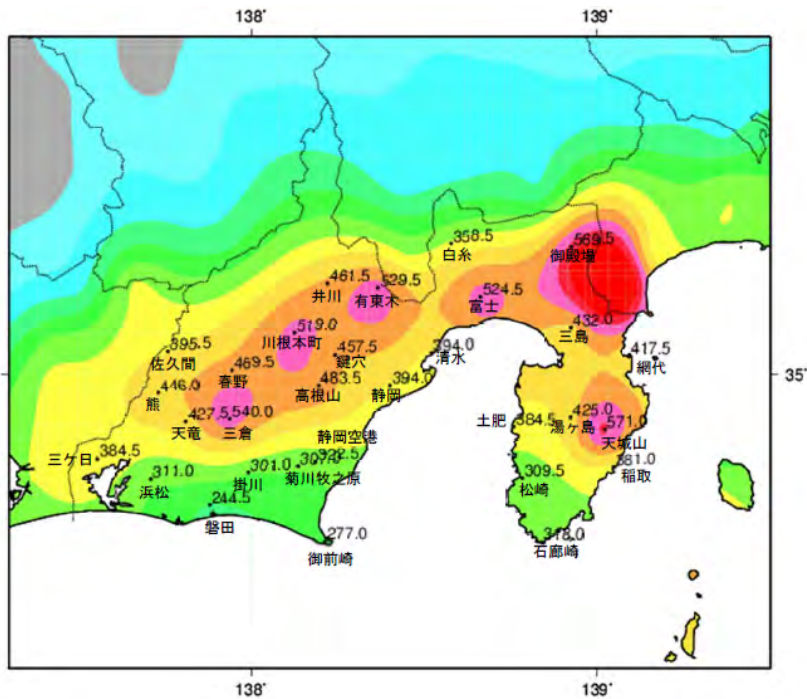
# 目次

1. 令和3年7月・8月大雨による出水状況について . . . . . 1
2. 大井川流域治水プロジェクトの公表と現在の取組み . . . . . 5

# (1) 令和3年7月・8月大雨による出水状況について

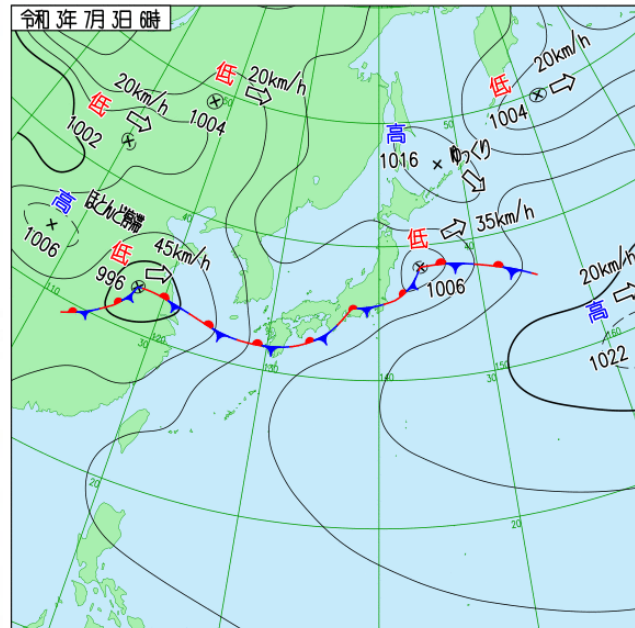
- 2日最大雨量では平均の約1.7倍を記録し、短期間で集中した大雨となった。
- 6月30日から7月4日にかけて、本州付近に停滞した梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため大気の状態が不安定となり、断続的に雨となった。
- 静岡県では、2日夜遅くから3日朝にかけて、遠州北、中部、東部、伊豆北の広い範囲で非常に激しい雨となり、静岡市井川では3日午前6時の時点で**1時間に49mmの雨量**を観測した。静岡県全域では土砂災害警戒情報を発表し、静岡市をはじめ多くの市町に避難指示を発表した。
- 8月12日から19日にかけても、本州付近に停滞した前線や湿った空気の影響で断続的に雨となり、一時非常に激しい雨となった所があった。

○アメダス積算降水量分布図

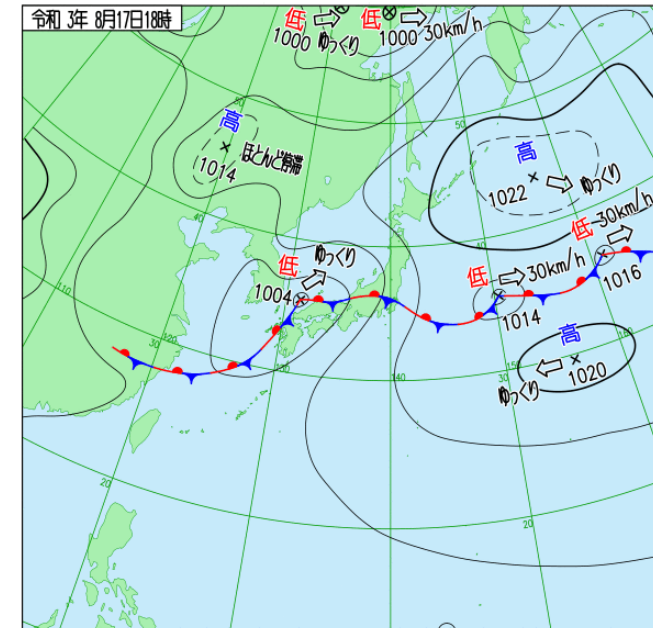


令和3年6月30日18時～7月5日00時までの積算雨量

○天気図



7月3日 6:00



8月17日 18:00

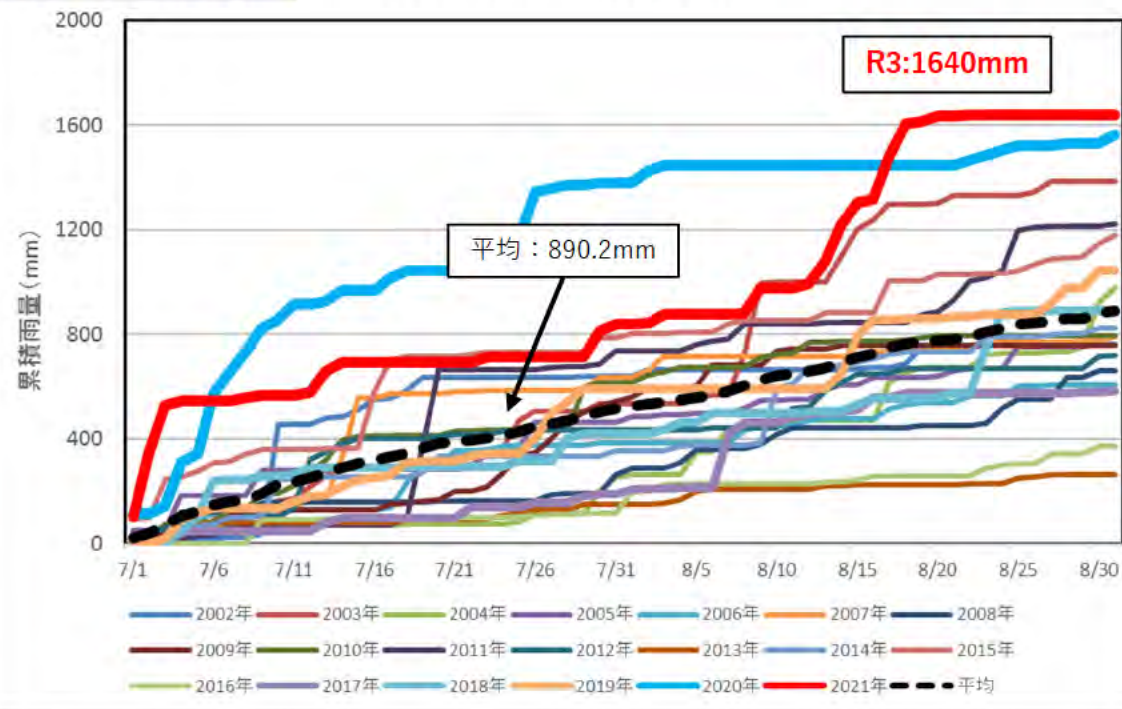
# (1)令和3年7月・8月大雨による出水状況について

7月1日～8月31日の累積雨量の経年変化

- 令和3年7月から8月の累積雨量は**過去20年間（2002年～2020年）で最大となり**、平年の約1.84倍の降水量を記録した。また、2日最大雨量では平均の約1.7倍を記録し、短期間で集中した大雨となった。

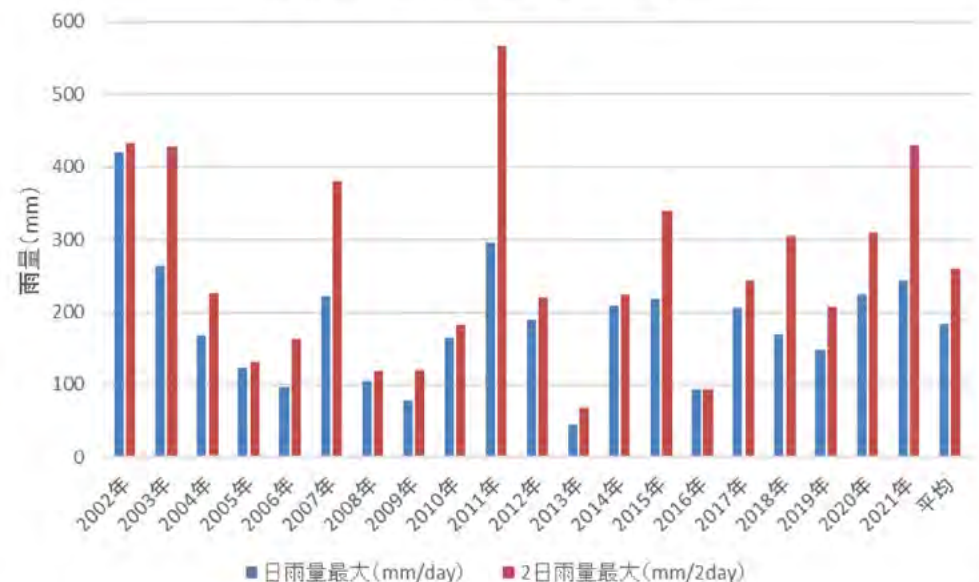
7月・8月の累積雨量

大井川流域 上川根雨量観測所



7月・8月の日雨量・2日最大雨量

大井川流域 上川根雨量観測所



7月・8月の累積雨量において特に**過去2年（R2・R3）**の累積雨量は、**他の年と比べて多い。**

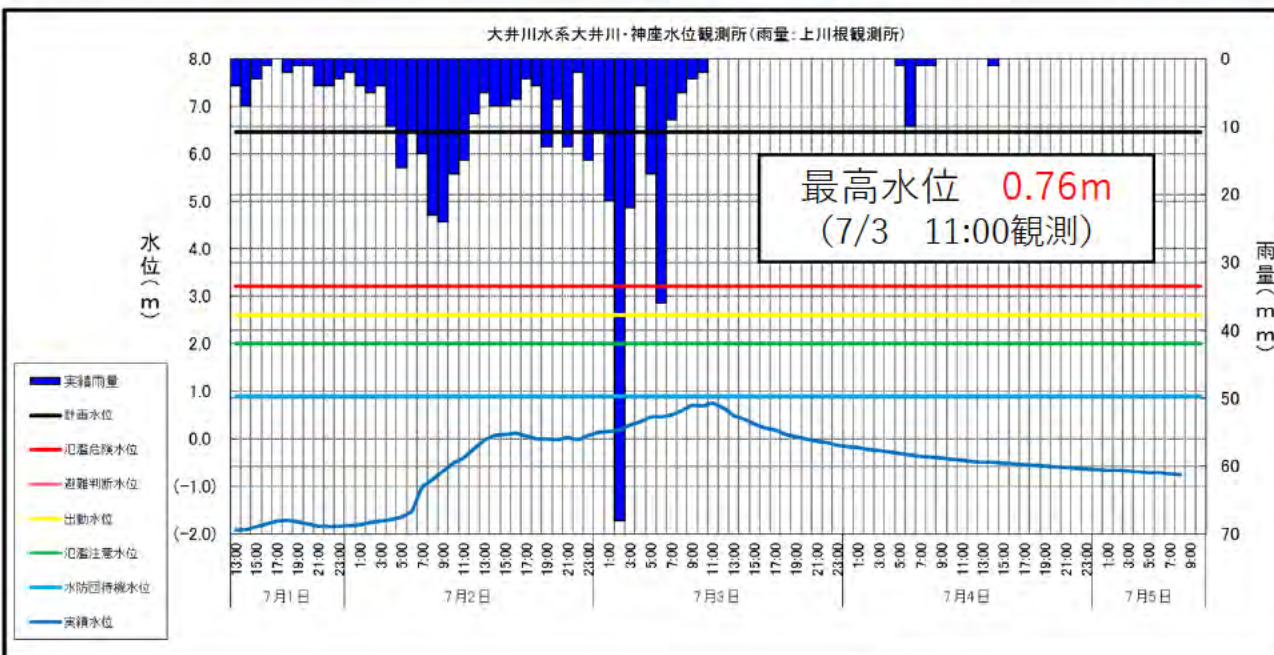
	累積雨量(mm)	平均との比較
2020年	1562	約1.75倍
2021年	1640	約1.84倍
平均(2002年～2021年)	890.2	



# (1)令和3年7月・8月大雨による出水状況について

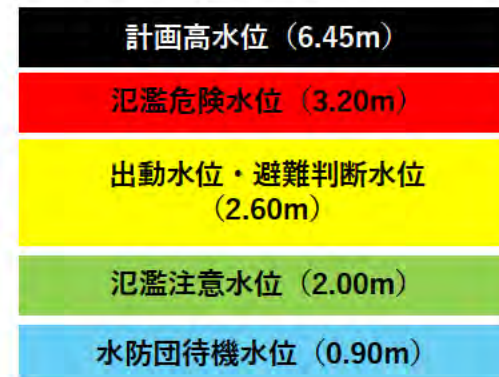
大井川の水位と雨量の変化

- 8月の降雨では**短期間の集中的な雨を何度も観測し、一時水防団待機水位以上の水位を観測した。**

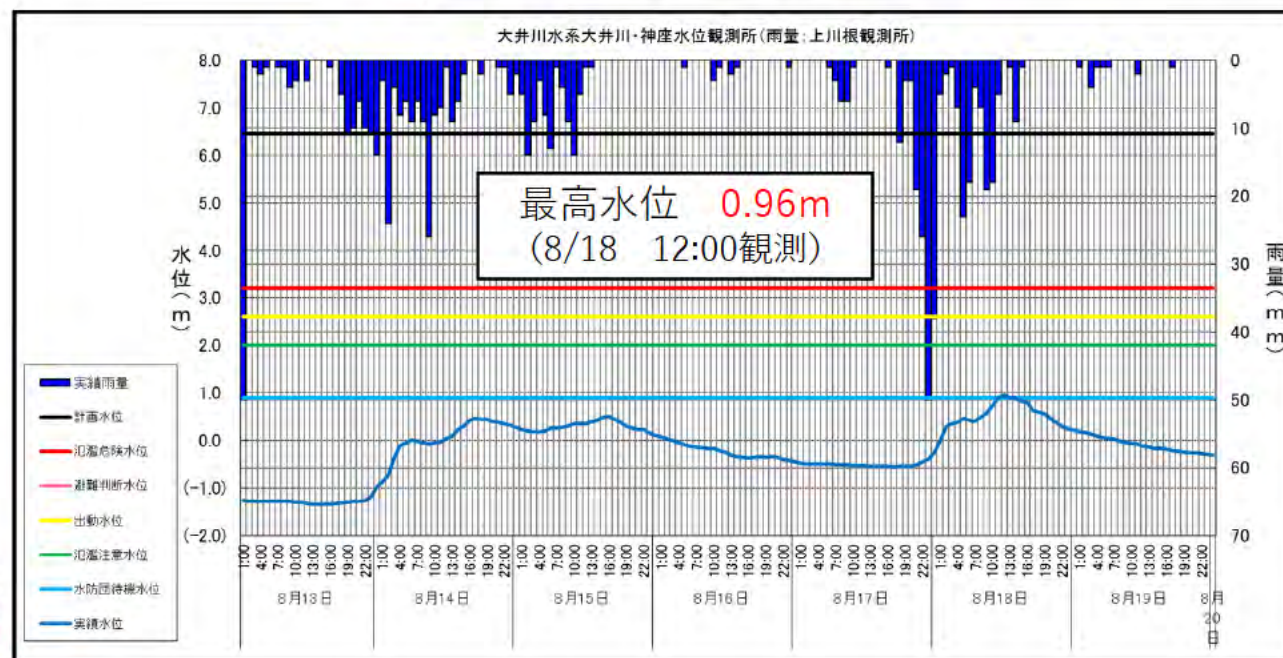


## 神座 7/1~7/5

<神座水位観測所の凡例>



## 神座 8/13~8/19





# (1)令和3年7月・8月大雨による出水状況について

- 点検により、新たな河岸侵食（右岸11.6km付近）、既設護岸の被災拡大（左岸1.6km付近）が確認された。

## ① 大井川右岸11.6km付近 島田市阪本地先



工事中道路兼管理用通路 一部洗掘

8月30日撮影



工事中道路兼管理用通路 流出

## ② 大井川左岸1.6km付近 焼津市飯淵地先

ふとんかご 流出・破壊  
被災延長 L=30m

7月5日撮影



応急復旧作業後  
上流から下流を望む

7月30日撮影



ふとんかご  
流出・破壊

大井川

大井川

近景  
下流から上流を望む

袋詰め玉石 90個投入





# (2) 安倍川水系流域治水プロジェクトの公表と現在の取組み

## 「流域治水」の施策のイメージ

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

### ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

**雨水貯留機能の拡大** 集水域  
 [国・市、企業、住民]  
 雨水貯留浸透施設の整備、  
 ため池等の治水利用

### 流水の貯留

[国・県・市・利水者] 河川区域  
 治水ダム等の建設・再生、  
 利水ダム等において貯留水を  
 事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]  
 土地利用と一体となった遊水  
 機能の向上

### 持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]  
 河床掘削、引堤、砂防堰堤、  
 雨水排水施設等の整備

### 氾濫水を減らす

[国・県]  
 「粘り強い堤防」を目指した  
 堤防強化等

### ② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導/  
 住まい方の工夫

[国・市、企業、住民]  
 土地利用規制、誘導、移転促進、  
 不動産取引時の水害リスク情報提供、  
 金融による誘導の検討

**浸水範囲を減らす** 氾濫域  
 [国・県・市]  
 二線堤の整備、  
 自然堤防の保全

### ③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

**土地のリスク情報の充実** 氾濫域  
 [国・県]  
 水害リスク情報の空白地帯解消、  
 多段階水害リスク情報を発信

**避難体制を強化する**  
 [国・県・市]  
 長期予測の技術開発、  
 リアルタイム浸水・決壊把握

**経済被害の最小化**  
 [企業、住民]  
 工場や建築物の浸水対策、  
 BCPの策定

**住まい方の工夫**  
 [企業、住民]  
 不動産取引時の水害リスク情報  
 提供、金融商品を通じた浸水対  
 策の促進

**被災自治体の支援体制充実**  
 [国・企業]  
 官民連携によるTEC-FORCEの  
 体制強化

**氾濫水を早く排除する**  
 [国・県・市等]  
 排水門等の整備、排水強化





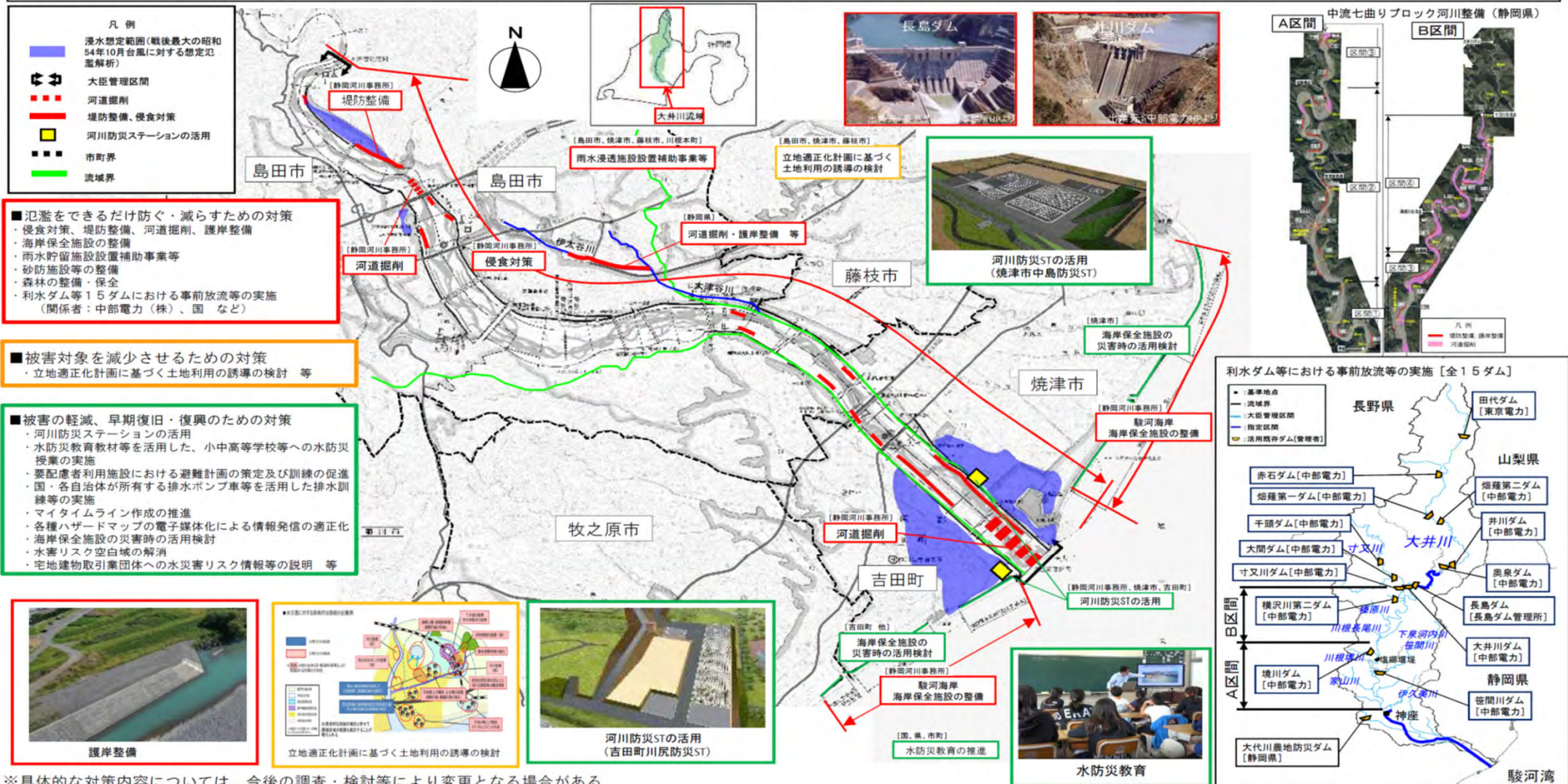
# (2)大井川流域治水プロジェクトの公表と現在の取組み

- 大井川水系では、令和3年3月30日に大井川水系流域治水プロジェクトが策定されました。

## 大井川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～利水ダムも協力し洪水氾濫に備える流域治水対策～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、大井川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 下流部の氾濫域は、風土を生かした紙製造業、水産食料品製造業などが発展している反面、降水量が多く扇状地形のため、大井川が氾濫すれば氾濫流が早い速度で拡散するなど水害リスクが高い地域であることから、侵食対策、土地利用の誘導の検討、水防災教育の推進などを実施する。
- これらの取組により、国管理区間においては、戦後最大規模の昭和54年10月洪水を上回る洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



# (2)大井川流域治水プロジェクトの公表と現在の取組み

## 大井川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～利水ダムも協力し洪水氾濫に備える流域治水対策～

● 大井川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 大井川流域での重大災害の発生を未然に防ぐため、堤防整備、河道掘削、侵食対策、利水ダム等における事前放流、雨水浸透施設設置補助事業等を実施する。あわせて、被害軽減のため、安全なまちづくり(立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への住居誘導等)、マイタイムラインの有効活用を図るため、住民の意識向上に向けた水防災教育教材の作成を実施する。

【中期】 大井川下流域における侵食破堤のリスク軽減を図るため、脆弱な護岸構造箇所の侵食対策(低水護岸整備)を実施。あわせて、被害軽減のため、安全なまちづくり(立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への住居誘導等)、マイタイムラインの有効活用を図るため、住民の意識向上に向けた水防災教育を実施する。

【中長期】 引き続き、侵食破堤対策である侵食対策(低水護岸整備)を推進すると共に、洪水を安全に流下させる断面の確保を図るため河道の維持掘削を行い、流域全体の安全度向上を図る。あわせて、被害軽減のための取り組みをあらゆる関係者と一体となって推進する。

### 【事業費(R2年度以降の残事業費)】

#### ■河川対策

全体事業費 約296億円 ※1

対策内容 堤防整備、河道整備、侵食対策等

#### ■海岸対策

全体事業費 約106億円 ※2

対策内容 海岸保全施設の整備

※1:直轄及び各水系の河川整備計画の残事業費を記載  
 ※2:直轄海岸保全施設整備事業の残事業費を記載

### 【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期 取組	中期 取組	中長期 取組
氾濫をできるだけ防く・減らすための対策	區轄区間における市街地等を守る堤防整備、河道掘削、侵食対策	静岡河川事務所	堤防整備・河道掘削		
	海岸保全施設の整備	静岡河川事務所	海岸保全施設の整備		
	大井川中流七曲りブロックにおける市街地等を守る河道掘削、堤防整備	静岡県		河道掘削・堤防整備	
	大井川下流ブロックにおける市街地等を守る護岸整備	静岡県			施設整備
	砂防施設等の整備	静岡県	施設配置等の計画策定		
	利水ダム等15ダムにおける事前放流等の実施	中部電力(株)、静岡河川事務所、長島ダム管理所 など	事前放流等の実施		
	雨水浸透施設設置補助事業等	島田市、焼津市、藤枝市、川根本町		補助事業等の継続	
森林の整備・保全	森林整備センター				
被害対象を減少させるための対策	「安全なまちづくり」に向けた取組 立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への住居誘導の計画策定・検討	島田市、焼津市、藤枝市	居住誘導計画の策定・検討		安全なまちづくりに合わせた取り組みの実施
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	河川防災ステーションの活用	静岡河川事務所、焼津市、吉田町	河川防災ステーションの活用		
	マイタイムラインの活用	静岡河川事務所、静岡県、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	河川防災ステーション完成		
	水防災教育教材等を活用した、小中高等学校等への水防災授業の実施	静岡河川事務所、静岡県、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	マイタイムラインの作成		マイタイムラインの運用・更新
			水防災教育教材の作成		水防災教育の実施

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

点線:策定、検討  
 実線:施工、運用

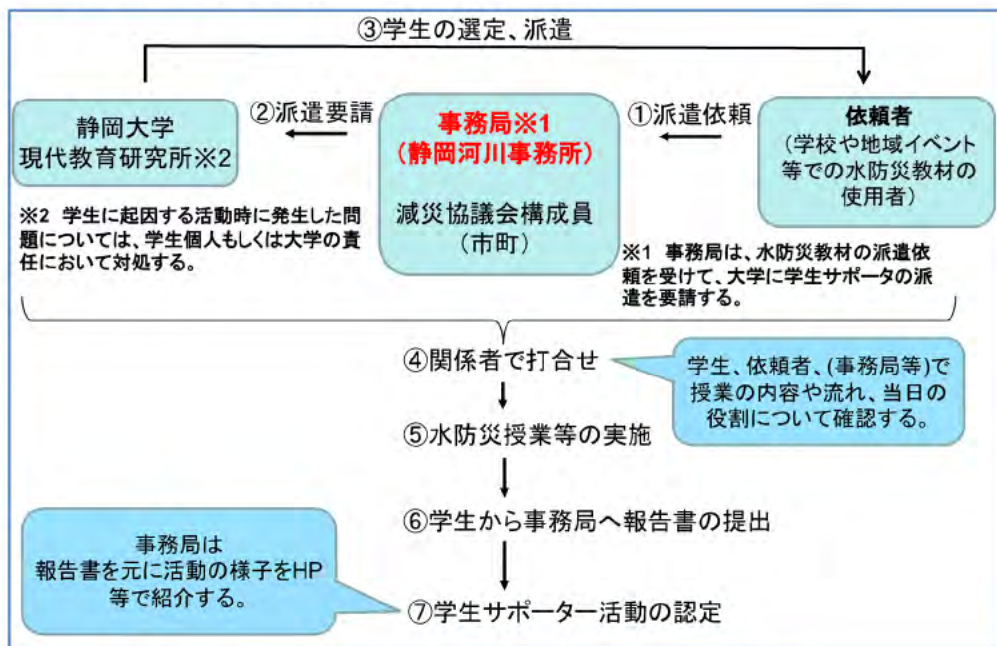
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



## 水防災教育学生サポーター制度の創設

- 静岡河川事務所は、防災を学ぶ静岡大学の学生が小中学校の教員を支援する「水防災教育学生サポーター制度」を今年度新たに創設し、水防災教育を普及していく予定である。

### ○水防災教育学生サポーター制度の取組

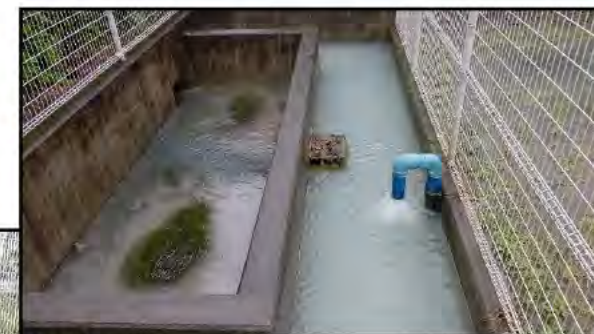


水防災教育学生サポーター制度オンライン調印式

## 貯留施設の整備

- 例として焼津市では、小中学校の校庭や公園に貯留機能を付す等の雨水貯留施設の整備に積極的に取り組んでいるところである。

### 雨水貯留施設



### 校庭貯留



雨水貯留施設の整備(焼津市)